



## 終戦から77年たった今、平和とは何かを考えよう！



2022年は5月15日に沖縄がアメリカ統治下から日本に復帰して50周年ですが、2月24日にはロシアがウクライナ侵攻して、世界中の戦火が更に拡大しています。そして世界で唯一の戦争被爆国である日本は、8月6日・9日に「原爆の日」、そして8月15日には「終戦記念日」を迎えました。

このような日本の8月は特に、「平和とは何か？」「戦争とは何か？」を改めて考えさせられる月でもあると思います。しかし、いつもの年よりも新聞やテレビでの発信が少ないように感じます。

JR東労組は「抵抗とヒューマニズム」の精神で、「テロにも戦争にも反対」を掲げ、組合員だけではなく、常に犠牲になるのは弱い立場の人であり、平和に暮らすためには結果だけではなく経過を学び、考えて自らが行動しなければならないと、実体験した方々からの訴えによって、歴史的に学んできました。しかし**実体験を語れる方々が少なくなる中、どのように平和な社会を目指すのか、私たちには問われているのではないのでしょうか？**

誰もが平和に生活をしたいと望んでいると思いますが、平和への願いは一緒でも、**どのように平和な社会をつくるのか一致していないのが、今の社会に現れている**と思います。私たちの第一歩は、平和について考えて対話したり、現地に立って真実を学び続けることです。是非、この**77回目の「終戦の日」から、平和について考える**ことを始めましょう！



**様々なことを話し合えることが、風通しの良い社会(職場)です！  
風通しの良さをどのようにつくるのか？JR東労組に結集して考えよう！**